

## 第11回沼津市議会定例会

### 一般質問（個人質問）

\* 一般質問（個人質問）は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

平成29年12月4日、5日、6日

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
1	5番 山下 富美子 *複合	1 三つ目ガードの冠水問題に対する抜本的対策について (1) 三つ目ガード冠水対策は貯留計画及び西北部第二都市下水路（猪川）改修から構成されることについて ① おのおのの内容の把握及び受けとめ方 ② 本市の関与のあり方 ③ 鉄道高架事業との関連 (2) 猪川のしゅんせつや総合的治水対策の必要性について 2 L G B T s（性的少数者）の理解及び本市の取り組みについて	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
2	6番 殿岡修 *一問一答	<p>1 沼津駅付近連続立体交差事業の費用便益比について</p> <p>(1) 費用便益比の推移について</p> <p>① 費用便益比の減少傾向</p> <p>② 現状の費用便益比1.24に対する認識</p> <p>(2) 交通量の現状と費用便益比について</p> <p>(3) 費用便益比算出における土地区画整理事業費の扱いについて</p> <p>① 便益費用として取り扱っていないこと理由</p> <p>(4) 費用便益分析マニュアルについて</p> <p>① 七通線等沼津駅周辺道路の整備費の扱い</p> <p>(5) 走行経費原単位等の便益の算出について</p> <p>(6) 新貨物ターミナルと新車両基地の費用便益比について</p> <p>① 両移転事業に伴う費用と便益の取り扱い</p>	市長 関係部長
3	7番 江本浩二 *一問一答	<p>1 サンフロント21懇話会の「新旅客駅を核とした原・浮島地区まちづくり構想」と関連施策について</p> <p>(1) 構想の提言に対する市長の所見</p> <p>(2) 新貨物ターミナルを前提にした新旅客駅と複合型スタジアムの可能性</p> <p>(3) 物流センター、健康文化タウンの可能性</p> <p>(4) 構想と新貨物ターミナル用地の買収交渉</p>	市長 関係部長
4	9番 植松恭一 *一括方式	<p>1 新貨物ターミナル用地の取得について</p> <p>(1) 地権者訪問の結果とその評価について</p> <p>① 訪問した理由</p> <p>② 直接会いどのような状況だったか</p> <p>③ この訪問に対する自身の評価</p> <p>④ 以上を踏まえ今後どのように用地買収を進めていくのか</p> <p>(2) 土地収用法第35条に基づく調査について</p> <p>① 土地収用法の手続の時期</p> <p>② 35条調査の目的と内容</p> <p>③ 調査によって任意買収ができなくなり強制収用になるのか伺う</p> <p>④ 以上を踏まえた上での市長の考え</p>	市長 関係部長

順番	氏 名	要 旨（個人質問）	答 弁 を 求 め る 者
5	1 番 尾 藤 正 弘 *一括方式	1 障害者雇用及び高齢障害者の支援策について (1) 「障がい者千五百人雇用～岡山県総社市の挑戦～」等の先進事例から学ぶ支援体制について ① 本市、支援機関及びハローワーク等公的機関連携 ② 就労定着支援 (2) 高齢障害者の介護保険サービスの円滑な利用について 2 防犯灯の早期LED化について 3 駿東伊豆消防組合（常備消防）と消防団との連携及び消防団へのデジタル無線機を初めとする装備品の配備状況について 4 全国大会等誘致への取り組みについて (1) 全国大会等の開催について (2) S e a 級グルメ全国大会の誘致に向けた取り組みについて	市 長
6	2 番 久保田 吉 光 *一括方式	1 学校給食費について (1) 学校給食費の取り扱いの現状と会計処理（私会計）の状況 (2) 公会計化に移行することによる効果と課題の認識 (3) 本県市町の学校給食費の取り扱い状況 2 道路内民地について (1) 本市市道の道路内民地についての認識 (2) 道路内民地に対する対応の現状 (3) 道路内民地の処理の効果と課題 (4) 道路内民地に対する今後の対応方針	市 長 教 育 長 関 係 部 長

順番	氏 名	要 旨（個人質問）	答 弁 を 求 め る 者
7	15番 深 田 昇 *一問一答	1 学校図書館を活用した教育の推進について (1) 学校司書について ① 役割や業務内容 ② 採用の状況 ③ 個々のスキルの把握 ④ 研修の状況 ⑤ 配置の状況 ⑥ 今後の取り組み 2 留守家庭児童が過ごす放課後等のあり方について (1) 放課後児童クラブの運用改善について ① 入所申し込みの条件 ② 優先順位づけの状況 ③ 開所時間の延長 (2) 総がかりで取り組む長期休みの居場所づくりについて ① 放課後児童クラブでの対応 ② 新たな枠組みでの対応	市 長 教 育 長 関 係 部 長
8	16番 梶 泰 久 *複合	1 本市の中小企業振興策について (1) 沼津市中小企業振興会議の活用 (2) 中小企業の人材不足へのサポート (3) 市内建設業者の受注機会の確保 2 企業主導型保育事業の促進について	市 長 関 係 部 長

順番	氏 名	要 旨（個人質問）	答 弁 を 求める者
9	18番 渡 部 一 二 実 *一括方式	<p>1 小・中学校教職員の働き方改革と学校施設の複合化について</p> <p>(1) 校務支援システムの最新化による働き方改革へのアプローチについて</p> <p>① 現校務支援システムの評価と課題</p> <p>② 次世代型校務支援システムの導入による評価支援等への活用</p> <p>(2) 学校施設の複合化の方向性及び小・中学校の適正規模・適正配置の見直しにおける跡地活用の考え方について</p> <p>① 現小・中学校における複合化の評価と課題</p> <p>② 今後の小・中学校複合化における高齢者福祉施設の導入推進及び適正化後の跡地活用</p> <p>2 地域包括ケアシステムにおける認知症スクリーニングの導入について</p> <p>(1) 現状の認知症スクリーニングの評価と課題について</p> <p>(2) 認知症初期集中支援チーム発足に向けた認知症スクリーニングの役割について</p> <p>(3) 認知症スクリーニング方式「TOP-Q」の導入について</p>	市 長 教 育 長 関 係 部 長
10	10番 加 藤 明 子 *一括方式	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長戦略に係る考え方について</p> <p>① 市長戦略の実績についての認識</p> <p>② 市長戦略監及び市長戦略室の役割と実績</p> <p>③ 主要な市長戦略の今後の方向性</p> <p>(2) 本市への企業誘致や創業支援について</p> <p>① これまでの実績</p> <p>② 他市町にはない本市の強み</p> <p>③ 今後の取り組み</p>	市 長

順番	氏 名	要 旨（個人質問）	答 弁 を 求 め る 者
11	23番 加 藤 元 章 *一問一答	1 子育て支援策への認識と各種待機児童の現況及び今後の対応について (1) 出生率と人口目標及び子育て支援策との整合性 (2) 保育所及び保育園 (3) 児童発達支援センターみゆき (4) 放課後児童クラブ 2 本市観光戦略と沼津御用邸記念公園の今後の整備方針について (1) 本市観光の現況と沼津御用邸記念公園の位置づけ (2) 沼津御用邸記念公園の今後の整備方針 (3) 本邸跡エリアの利活用 (4) 沼津市歴史民俗資料館の今後の扱い	市 長 教 育 長 関 係 部 長
12	12番 高 橋 達 也 *一括方式	1 沼津駅周辺総合整備事業後の具体像について (1) これまでの議論 (2) 県が示した具体像に対する認識 (3) 市長の考える具体的な沼津駅周辺総合整備事業完了後の街の姿 2 専門的な技能を有する職員の配置について (1) 現在の職員配置の方針 (2) 専門性が要求される部課への職員の配置方針	市 長

順番	氏 名	要 旨（個人質問）	答 弁 を 求める者
13	27番 城 内 務 *一問一答	<p>1 医療・福祉対策について</p> <p>(1) 「医療介護総合確保推進法」への対応について</p> <p>① 国や県の地域医療構想の策定の意義と本市のかかわり</p> <p>② 本市における機能別病床数の現状</p> <p>③ 西暦2025年時の機能別必要病床数の想定</p> <p>④ 駿東田方構想区域における県の構想に対する本市の対応</p> <p>⑤ 県の構想に対する沼津市立病院の認識</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムの構築について</p> <p>① 地域包括ケアシステムの現状</p> <p>② 在宅医療への転換に対する現状</p> <p>③ 地域包括ケアシステム及び在宅医療に対する沼津市立病院の対応</p> <p>④ 介護予防・日常生活支援総合事業についての現状と課題</p> <p>⑤ 生活支援コーディネーターの確保と協議体の設置についての現状と課題</p> <p>⑥ 総合事業における自治会単位での場の確保と人材の確保</p> <p>⑦ 地域ケア会議の状況と課題</p> <p>⑧ 地域包括支援センターでの「ダブルケア」への対応</p> <p>2 本市の魅力を生かした交流人口の拡大策について</p> <p>(1) 伊豆半島ジオパークと本市のかかわりについて</p> <p>① 本市のジオサイトに対する認識</p> <p>② ジオサイトの周知とビジターセンターの拡充</p> <p>③ 牛臥山（ひょうたん島）の登山道の整備</p> <p>(2) 「沼津ひょうたん島プロジェクト」の活動と資料館の設置について</p> <p>① プロジェクトの活動に対する認識と評価</p> <p>② 仮称「ひょうたん島資料館」の設置</p>	市 長 病 院 長 関 係 部 長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を求める者
14	13番 片岡章一 *一括方式	1 マイナンバーカードの推進について (1) 現状と課題の認識 (2) 今後の普及促進 (3) 行政サービスにおける利活用 (4) さらなる活用 2 いじめ防止対策について (1) いじめ防止対策推進法施行後の対応 (2) SNS等を活用した対策	市長 教育長 関係部長
15	8番 梅沢弘 *一問一答	1 市長の政治姿勢について (1) 財務省が行った本市の財務状況の診断表に対する認識と評価について ① 4つのキャッシュフロー分析指標 ② 診断表の公表 ③ 地方公共団体向け財政融資財務状況把握ハンドブックの活用 ④ 収支計画としての長期財政試算 (2) 国及び本市における緊急課題である財政再建について ① 近視眼的思考がもたらす国及び本市の財政危機 ② サンフロント21懇話会の提言に対応した市長の認識と行動 (3) 本市におけるドローン活用の進捗状況について (4) 災害時用水洗トイレ付車両の導入について	市長 関係部長
16	19番 岩崎英亮 *複合	1 沼津市立病院の経営について (1) 沼津市立病院新改革プランの上半期における取り組み (2) 上半期の取り組みを踏まえた下半期の取り組み (3) 平成30年度の診療報酬改定への対応	病院長 関係部長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を求める者
17	21番 中田孝幸 *一問一答	1 市長の政治姿勢について (1) 新貨物ターミナル用地の取得について ① 任意買収についての市長の認識について ア 基本的な姿勢 イ 地権者への説明とあり方 ② 土地収用法に対する認識について	市長 関係部長
18	22番 川口三男 *一括方式	1 沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の到達評価から見る大沼市長就任1年間における選挙公約の検証について (1) 沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標の現時点の到達における市長の評価と認識 (2) 市長就任1年の自己評価と公約実現の現状と今後の対応	市長
19	17番 原信也 *一括方式	1 新貨物ターミナル用地の収用時期に係る認識について 2 高尾山古墳と沼津南一色線建設最終案について 3 新市民体育館における集客イベントの開催基準のクリアについて 4 新中間処理施設の建設時期について 5 愛鷹広域公園多目的競技場の改修計画について 6 近隣市町との連携強化について 7 市内県立高校の統合への対応について	市長 教育長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
20	20番 水口 淳 *複合	1 合併後12年を経過した旧戸田村地区に係る施策の状況について 2 戸田地区の課題について (1) 戸田地区からの高等学校通学補助金 (2) 戸田地区から沼津駅間バス増便と高校生の通学可能な時間帯の変更 (3) 戸田小学校屋外避難階段単独設置、外壁塗装の修繕 (4) 防災無線機の戸別整備 (5) 海上交通、カーフェリー戸田港寄港と戸田港のプレジャーボート係留 (6) くるら戸田南側の土地購入の考え (7) 住民の足の確保、ワゴン車等の循環の運行 (8) 選挙投票所の増設と掲示板の設置 (9) 2018年に国が実施する日ロ友好事業、日本におけるロシア年、ロシアにおける日本年の本市の対応	市長 教育長